

国府地域包括支援センター 担当

日 時： 令和6年9月17日（火）午後1時30分～1時55分

会 場： 栃木市役所 401 会議室

事例数： 1 ケース

参加者数： 12名

事例提供者 1 名、サービス提供事業者 2 名、助言者 6 名、
包括職員 2 名、傍聴者 1 名、

脳動脈瘤後遺症で尖足があり、歩行が不安定な81歳独居女性

〈目標〉1日:体調に無理なく運動や体操を続ける

1年:体調良く過ごしていける

利用サービス:通所介護独自サービス(従前)・介護予防福祉用具貸与

《生活全般の解決すべき課題》

- 身体機能が維持できるよう運動、リハビリに取り組みたい。
- 安全な移動ができるよう環境を整えたい。
- 義歯を調整し、食事をしっかり摂りたい。
- 社会交流を持ち、生きがいや楽しみを持ちながら生活を送りたい。

《助言者からの助言内容》

- しっかり噛むことができるよう早急に歯科通院して義歯調整を行う。
- 筋肉を作る栄養素であるタンパク質摂取ができるように噛める歯にすることが重要。
- 歩行に自信が持てるように「散歩してみたい」という本人の意向にアプローチしていく。
- 運動機能低下と尖足改善に対しての自主練習を提案していく。
- 社会参加の他に役割を持つことが介護予防になるため、役割を家族と共に検討する。



歯科通院し噛める歯にしていくことで運動機能低下予防を図り、歩行に自信が持てるよう支援する。

☆地域課題(地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等)

特になし。